

2021年度採用 臨床研修医募集要項

2020年6月 受験案内

- 試験日 2020年8月16日（日）午前・午後
（いずれかの希望する日） または 8月20日（木）午前・午後
※予備日：8月18日（火）（応募者多数の場合）
- 受付期間 2020年7月 1日（水）
～8月 5日（水）《必着》
午前9時～午後5時（土・日曜日、祝日は除く）
- 受付場所 加古川中央市民病院 人事部（3階）

加古川中央市民病院



地方独立行政法人 加古川市民病院機構 人事部 採用担当

【加古川中央市民病院】 〒675-8611 兵庫県加古川市加古川町本町439番地
電話：（079）451-5500 ホームページ：<http://www.kakohp.jp>

1 応募資格

2020年度医師国家試験受験予定者で医師臨床研修マッチングシステムに参加する人

2 採用予定人員

1年次 11名

3 受験申込

申 込 必要書類	・採用試験申込書：当院所定用紙（ホームページからダウンロードできます） ・卒業（見込み）証明書 ・成績証明書
郵送による申込	・7月1日～8月5日（必着） ・封筒の表に「臨床研修医採用試験申込書」と朱書きし、下記送付先へ郵送してください。 【送付先】〒675-8611 兵庫県加古川市加古川町本町439番地 地方独立行政法人加古川市民病院機構 人事部採用担当宛

4 試験

- (1) 試験日 2020年8月16日（日）午前・午後 または 8月20日（木）午前・午後
（いずれかの希望する日） ※応募者多数の場合の予備日：8月18日（火）
- (2) 試験会場 加古川中央市民病院 事務部（3階）
- (3) 試験内容 個別面接試験、書類選考
- (4) 持ち物 試験案内通知、本人確認書類（写真添付のもの）
- (5) 留意事項 当院は、医師臨床研修マッチング協議会が実施するマッチングに参加しています。応募にあたってはマッチングに参加登録してください。

5 研修開始時期および期間

2021年4月から2年間の一貫研修

6 研修医の処遇

身 分	地方独立行政法人の嘱託職員（常勤）
研修手当	一年次 306,000円（基本額）／ 533,205円（賞与年額）
	二年次 316,000円（基本額）／ 821,600円（賞与年額）
	宿日直手当・時間外勤務手当等は別途支給
勤務時間	8時30分 ～ 17時00分（時間外勤務あり）
休 日	土・日・祝日 ／ 年末年始
休 暇	1年次 有給休暇10日 ／ 夏季休暇5日
	2年次 有給休暇11日 ／ 夏季休暇5日
住 居	・月額家賃補助（上限35,000円）
	・仲介手数料、敷金等費用補助
健康管理	健康診断（年2回）、インフルエンザ予防接種、麻疹・風疹・水痘・ムンプス・B型肝炎ワクチン接種など
社会保険等	協会けんぽ ／ 厚生年金／ 労災保険 ／ 雇用保険
外部への研修活動	学会・研究会等への参加可。参加費・旅費の支給あり
その他	医療賠償責任保険（病院において加入）、職員互助会あり

※ 上記処遇については、2020年6月時点での予定であり、今後変更になる場合があります。

7 加古川中央市民病院位置図



■病院へ交通アクセス

[徒歩の場合]

JR 加古川駅南口より、北西に約 950m です。(約 12 分)

(注)

駐車場が限られているため、お車でのご来院はお控えください。

☆ 研修プログラムについて ☆

1. プログラムの目的と特色

目的：医師としての人格形成と一般的な診療において頻繁に係る負傷又は疾病に適切に対応できる基本的な診療能力（知識・技能・態度）の修得、そして各自の志望する専門科において、地域に貢献できる医師の育成を目的とする。

- 1) 医療制度の基本である保険診療の知識を修得する。
- 2) 病院内外の医療従事者（地域の他の医師、コメディカルスタッフなど）と良好な人間関係を築き、チーム医療が実践できる。
- 3) 患者及びその家族との信頼関係をつくることができる。
- 4) 日常よく遭遇する疾患や外傷の診断と治療ができる。
- 5) 救急の初期治療ができる。
- 6) 医療情報、診察内容などを正しく記録する習慣を身につける（カルテ、診断書、入院サマリーなど）。
- 7) 志望科で専門的な診療能力を高める。

特色：東播磨医療圏域で地域医療の中核を担い、当院の各診療科、地域の診療所や離島、精神科病院、および保健所等と連携して、医学・医療全般の知識と技術の習得を図り、プライマリー・ケアに対応できる医師の養成を目指している。本プログラムには以下の7つの特色を有する。

1. 多彩な診療科で研修が可能
2. 様々な専門的な救急疾患の研修が可能（3次救急現場の体験も可）
3. 実践研修・シミュレーション教育が充実
4. 個々にオーダーメイド研修プログラムを作成
5. 豊富な指導医と指導体制の充実
6. 多くの診療科から将来の専門性を見据えた研修
7. 地域医療は離島研修を含む

2. 研修カリキュラム

一般的な診療において頻繁に係る負傷又は疾病に適切に対応できる基本的な診療能力（知識・技能・態度）の修得のため、1年次に内科6ヵ月、救急3ヵ月と必修分野3ヵ月を実施し、2年次に地域医療1ヵ月、必修分野を1ヶ月と将来の志望科により選択必修科目等を10ヶ月履修する。

◎研修ローテーション（例）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
< 1 年次 >	内 科 (※4) 【24週以上】						救 急 【12週以上】			必修分野 (※1) (※4) 【12週以上】		
< 2 年次 >	地域医療 (※2) (※4) 【4週以上】	必修分 野 (※1) (※4) 【4週以上】	選 択 分 野 (※3) 【40週以上】									

（※1）必修分野・・・外科（一般外来含む）、小児科（一般外来含む）、産婦人科、精神科のそれぞれの診療科（いずれも4週以上）

なお、精神科については、当院及び東加古川病院で2週ずつ研修。

（※2）地域医療・・・9ヶ所の近隣の開業医や兵庫県内の病院及び診療所、また沖縄の離島研修から選択研修。（4～6週）

なお、伊江村立診療所（離島研修）は基本的に選択するものとする。（2週）

また、市立加西病院と兵庫県立丹波医療センター病院群での研修は4週とし、兵庫県立丹波医療センター病院群の研修は丹波市ミルネ診療所の研修を2週以上とする。

地域研修中に2回、在宅診療を経験する。

（※3）選択分野・・・保健・医療行政（4週）、必修分野以外の既存の診療科

救急科（3次救急）研修は、兵庫医科大学病院（救命救急センター）、神戸大学医学部附属病院（救命救急科）、兵庫災害医療センター（いずれも2～4週）が可能である。

丹波市ミルネ診療所を地域医療で選択した場合は、4週のうち地域医療研修以外の期間を内科研修とする。

（※4）一般外来・・・総合内科・小児科・外科・地域医療の中で実施する（4週）

（※1）（※3）：同一診療科の選択は最長24週とする。

☆加古川中央市民病院概要☆

(1) 診療科

内科/総合内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、糖尿病・代謝内科、腫瘍・血液内科、リウマチ・膠原病内科、腎臓内科、脳神経内科、小児科、小児循環器内科、外科、消化器外科、乳腺外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、整形外科、形成外科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、産婦人科、泌尿器科、脳神経外科、麻酔科、精神神経科、放射線診断科・ＩＶＲ科、放射線治療科、歯科口腔外科、病理診断科、救急科、リハビリテーション科

(2) 職員数（２０２０年４月１日現在 ※臨時職員除く）

医師２４２名（初期研修医３１名、専攻医５７名等を含む）、看護師６９８名、准看護師２名、助産師４９名、医療技術職員２３０名、事務職員等２８２名【合計１，５０３名】

(3) 病床数 一般 ６００床

(4) 認定研修施設等

厚生労働省指定 基幹型臨床研修病院
 厚生労働省指定 単独型歯科臨床研修施設
 地域医療支援病院
 地域周産期母子医療センター
 兵庫県指定 がん診療連携拠点病院
 兵庫県認知症疾患医療センター
 日本医療機能評価機構 機能種別版評価項目
 3rdG：Ver.2.0認定病院
 WHO・ユニセフ認定 赤ちゃんにやさしい病院
 （Baby Friendly Hospital）
 加古川市指定 災害対応病院
 日本アレルギー学会アレルギー専門医教育研修施設
 日本老年医学会認定施設
 日本病院総合診療医学会認定施設
 日本内科学会認定医制度教育病院
 日本消化器学会専門医制度認定施設
 日本消化器内視鏡学会専認定指導施設
 日本超音波医学会認定超音波専門研修施設
 日本肝臓学会専門医認定 神戸大学医学部附属病院（旧肝施第127号）関連施設
 日本胆道学会認定指導医制度指導施設
 日本膵臓学会認定指導医制度指導施設
 日本消化管学会 胃腸科指導施設
 日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
 日本高血圧学会専門医認定施設
 日本動脈硬化学会専門医制度教育病院
 日本不整脈心電学会認定 不整脈専門医研修施設
 日本循環器学会 ＩＴ／Database参加認定施設
 ICD認定施設
 管内レーザー焼灼術実施・管理委員会 下肢静脈瘤に対す
 血管内レーザー焼灼術の実施基準による実施施設
 日本心血管インターベンション治療学会研修施設
 日本脈管学会認定研修関連施設
 日本呼吸器学会認定施設
 日本呼吸器内視鏡学会気管支専門医制度関連認定施設
 日本感染症学会認定研修施設
 日本糖尿病学会認定教育施設
 日本臨床腫瘍学会認定研修施設
 日本血液学会認定血液研修施設
 日本輸血・細胞治療学会認定医制度指定施設
 日本輸血・細胞治療学会輸血機能評価認定制度（I&A制度）認定施設
 日本輸血・細胞治療学会 臨床輸血看護師制度・認定輸血
 検査技師制度指定研修施設
 日本成人白血病治療共同研究グループ JALSG参加施設認定
 日本リウマチ学会認定教育施設
 日本腎臓学会研修施設
 日本透析医学会教育関連施設認定
 日本アフェシス学会認定施設
 日本神経学会専門医制度准教育施設
 日本小児科学会小児科専門医制度研修施設
 日本小児科学会専門医制度研修支援施設
 日本小児神経学会小児神経専門医制度研修施設
 日本精神神経学会精神科専門医制度研修施設

日本総合病院精神医学会一般病院連携精神医学専門医特定研修施設認定
 日本外科学会専門医制度修練施設
 日本消化器外科学会専門医制度専門医修練施設
 日本肝胆膵外科学会 肝胆膵外科高度技能専門医修練施設B
 日本消化器外科学会 学会連携証明証（対象術式：腹腔鏡下肝切除術）
 一般社団法人 National Clinical Database 施設会員
 三学会構成心臓血管外科専門医認定基幹施設
 日本成人先天性心疾患学会認定成人先天性心疾患専門医連携修練施設
 関連10学会構成 日本ステントグラフト実施基準管理委員会
 胸部大動脈瘤ステントグラフト実施施設
 関連10学会構成 日本ステントグラフト実施基準管理委員会
 腹部大動脈瘤ステントグラフト実施施設
 浅大動脈ステントグラフト実施基準管理委員会 実施認定施設
 補助人工心臓治療関連学会協議会 IMPELLA補助循環用ポンプカテ
 テル実施施設
 経カテーテルの大動脈弁置換術関連学会 経カテーテルの大動脈弁
 置換術 実施施設
 日本成人先天性心疾患学会認定成人先天性心疾患専門医連携修練施設
 日本整形外科学会専門医制度研修施設
 日本形成外科学会認定施設
 日本乳房オンコプラスティックサージェリー学会 エキスパンダー実施施設
 日本乳房オンコプラスティックサージェリー学会 インプラント実施施設
 日本乳癌学会認定関連施設
 日本脳神経外科学会専門医認定制度指定訓練場所
 呼吸器外科専門医制度 基幹施設関連施設
 日本小児外科学会専門医制度専門医育成認定施設
 日本皮膚科学会認定専門医研修施設
 日本泌尿器科学会専門医教育施設
 日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設
 日本周産期・新生児医学会 専門医制度 周産期専門医（新生児）
 暫定認定施設
 日本周産期・新生児医学会 専門医制度 周産期専門医（母胎・胎
 児）暫定認定施設
 兵庫県医師会母体保護法指定医師研修機関
 日本眼科学会専門医制度研修施設
 日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設
 日本がん治療認定機構認定研修施設
 日本核医学会専門医教育病院
 日本医学放射線学会放射線科専門医制度 放射線科専門医修
 練基幹（画像診断・IVR部門）
 日本診療放射線技師会 医療被ばく低減施設
 日本インターベンショナルラジオロジー学会専門医修練施設
 日本麻酔科学会 日本麻酔科認定病院
 日本心臓血管麻酔学会 心臓血管麻酔専門医認定施設
 日本口腔外科学会専門医制度 認定研修施設
 日本顎顔面インプラント学会認定研修施設
 日本障害者歯科学会認定医臨床経験施設
 日本救急医学会 救急科専門医指定施設
 薬学教育協議会 薬剤生長期実務実習 受入施設
 日本病態栄養学会 栄養管理・NST実施施設
 一般社団法人日本作業療法士協会 作業療法士臨床実習指導施設

(5) 沿革

昭和25年 宝殿病院として開設（23床）
 昭和35年 加古川市民病院と改称（140床）
 昭和53年 本館竣工（251床）
 平成7年 別館竣工（351床）
 平成17年 電子カルテシステム導入
 平成20年 入院基本料7対1看護適用
 中央診療棟竣工、病院機能評価認定

平成21年 院内保育園開園
 平成21年 DPC対象病院となる
 平成22年 病床数変更（一般405床）
 平成23年 地方独立行政法人加古川市民病院機構
 加古川西市民病院となる
 平成24年 救急科新設、病床数変更（一般397床）
 平成28年 加古川中央市民病院として移転オープン（一般600床）